

国語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基本的な知識(漢字や文法等)を習得し、実生活において正しく用いる。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を正しく捉える。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<p>ア 漢字の読み書き、書字に課題がある。また、語彙を豊かにすることも必要である。</p> <p>イ 背景描写や小さな表現から、物語の場面展開や人物の心情理解につなげて読むことに課題がある。</p>	<p>ア 毎時間漢字や語彙に関するプリントに取り組ませ、学期に1度程度小テストを実施する。</p> <p>イ 読み流してしまうような何気ない記述に着目させて、その部分が物語に与える影響を自分の言葉でまとめ、クラスで共有していく。</p>	・通年 ・通年	
第2学年	<p>ア 言語に関する基本的な知識(語彙力・文法等)の習得状況に課題がある。</p> <p>イ 文章の内容を正確に捉え、与えられた課題に対して条件に従って解答することに課題がある。</p>	<p>ア 1時間で習得する内容を絞り、スマルステップで学習する。毎時の最初に前回の確認をする機会を設けていくことで知識の定着を図る。</p> <p>イ まず文章を正確に読み取るための音読を毎時間の授業の中で実施する。ワーク等を用いて基本的な読解の問題演習を繰り返し行う。イ</p>	・通年 ・通年	
第3学年	<p>ア 言語に関する基本的な知識(言葉の意味や使い方)の習得状況に課題がある。</p> <p>イ 文章の構成(=展開)を捉えることや、登場人物の心情や作者の表現方法について論理的に説明することに課題がある。</p>	<p>ア 毎週同じパターンでの漢字小テストを実施し、基本的な知識の定着を図る。漢字の習得や文章読解と共に、言葉の意味にも着目していく。</p> <p>イ 文章全体の構成を意識させた授業を展開する。解答を求める際に、その根拠を明確にさせる。</p>	・通年 ・通年	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について</p> <p>1年 授業で用いた資料等をタブレット端末で共有し、いつでも使えるようにしておく。また、ロイロノートを活用し、共同作業を効果的に行わせる。</p> <p>2年 気になる語句等を調べたりする、班での話し合いの内容を視覚化したりする際に活用する。</p> <p>3年 ロイロノートのスライドを電子フリップとして活用し、それを他者に見せながら効果的な発表をし合う。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 ロイロノートにワークシート等を格納しておき、常に生徒が使用することができるようになる。また、授業時には目標をワークシートにも明示する。</p> <p>2年 単元の始まりの最初に、どのような力を身に付けていくことが目標なのか、そのためにはどのようなプロセスで核心に迫っていくのかを明示する。</p> <p>3年 目標の明示やそこに至るまでの具体的なプロセス、最後のまとめ等を、ICT等を活用しながら視覚的に伝えていく。</p>
--	---